

# 事務事業評価シート（ 1 / 2 ）

1 頁

令和 7年11月26日  
08時36分21秒

評価年度 令和 6年度 進捗区分 1 次評価

所属 0001251510 農地整備課管理係

事務事業 02627 湛水防除施設管理事業

電話番号 0566-71-2236

## 【基本情報】

計画回数	03	第 9 次安城市総合計画			
重点戦略	002	ちから			
分野別	001	5 農業			
施策の取組	004	農業生産基盤整備の推進及び農地集積の促進			
事務事業	027	湛水防除施設管理事業			
事業期間	平成14年度 ~				
実施方法	全部委託				
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目	
重点戦略		マニフェスト			
根拠法令等					
備考	平成 2 8 年度の事務事業の見直しにより、平成 2 9 年度から以下の事業から名称変更しています。 ・土地改良施設維持管理事業				

## 【事業分析】

対象	流域の農業者が
目的	大雨による農地の湛水被害を受けにくくなります。
手段	大雨による農地のたん水被害を防止するために、県営土地改良事業（たん水防除事業）により鹿乗川排水機場（平成14年築）と東端排水機場（平成17年築）及びその施設に通じる導水路整備を行いました。これら施設の機能を保つため維持管理業務を実施するものです。
事務内容	排水施設（鹿乗、東町、東端）の維持管理のため、施設保守管理業務委託、施設清掃業務委託を行うとともに、老朽化し更新が必要な設備の更新工事を行います。また、排水施設の日常点検及び降雨時の緊急運転対応を地元運転手に依頼し、農地のたん水被害を防止します。

## 【コスト】

（単位：千円）

		令和 5年度 決算額	令和 6年度 決算額	令和 7年度 予算額
トータルコスト		34,890	36,686	193,838
事業費	事業費	28,290	29,986	184,738
	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	6,878	8,690	25,000
	地方債	0	0	0
	その他	12,373	8,637	121,787
	一般財源	9,039	12,659	37,951
	人件費計	6,600	6,700	9,100
	正規（人）	1.00	1.00	1.30
その他経費		0	0	0

	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
【事務事業活動実績】	排水機場日常点検 1 回/週 排水機運転（大雨時） 導水路草刈業務等 草刈 年 2 回 排水機場保守点検業務 等 一式	排水機場日常点検 1 回/週 排水機運転（大雨時） 導水路草刈業務等 草刈 年 2 回 排水機場保守点検業務 等 一式	排水機場日常点検 1 回/週 排水機運転（大雨時） 導水路草刈業務等 草刈 年 2 回 排水機場保守点検業務 等 一式

# 事務事業評価シート（ 2 / 2 ）

2 頁

令和 7年11月26日  
08時36分21秒

評価年度 令和 6年度 進捗区分 1 次評価  
所属 0001251510 農地整備課管理係  
事務事業 02627 湛水防除施設管理事業

【定量評価】 上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
ポンプ稼働設定水位到達回数のうち、ポンプ稼働回数率	%	100.00 100.00	0.00 100.00	100.00 0.00
湛水被害による苦情	回	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性	国・県・民間等との補完性 1 国・県・民間等がサービスを行っていない 2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある 3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	2
理由	県の取り組みがないため、市で補完する必要があります。		
2	必要性	市民ニーズの有無 1 市民ニーズは充分にある 2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している 3 市民ニーズはない又は不明である	1
理由	農地等が湛水しないよう適正な施設管理が必要です。		
3	有効性	目標に対する進捗状況 1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である 2 目標を下回る進捗状況である 3 進捗はかなり遅れている	1
理由	目標どおりの適正な管理ができています。		
4	効率性	事業の効率化・事業費の削減 1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている 2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる 3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	2
理由	国県の補助金を活用し、市の事業費負担を軽減しています。		
5	公平性	事業規模・サービス水準 1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。 2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。 3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	1
理由	農地の混住化により、当事業の必要性は高まっています。		

【1 次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1 次コメント ( 4 0 0 文字 )	県営土地改良事業（たん水防除事業）により築造された鹿乗川排水機場（平成14年築）と東端排水機場（平成17年築）及びその施設に通じる導水路も整備から 1 0 年以上が経過し、経年劣化による不具合が発生しています。令和元年度から令和 5 年度にかけて鹿乗川排水機場では、県営事業として施設の長寿命化を図る機能保全対策によるポンプや電気設備等の整備を行い、湛水被害を未然に防止するよう努めています。

【2 次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2 次コメント ( 4 0 0 文字 )	本事業においては、2 次評価を実施していません。

# 事務事業評価シート（ 1 / 2 ）

3 頁

令和 7年11月26日  
08時36分21秒

評価年度 令和 6年度 進捗区分 1 次評価  
所属 0001251510 農地整備課管理係  
事務事業 02629 土地改良事業推進事務

電話番号 0566-71-2236

【基本情報】

計画回数	03	第 9 次安城市総合計画			
重点戦略	002	ちから			
分野別	001	5 農業			
施策の取組	004	農業生産基盤整備の推進及び農地集積の促進			
事務事業	029	土地改良事業推進事務			
事業期間	平成元年度 ~				
実施方法	直営				
会計区分	一般会計	事業区分	義務的	性質別費目	
重点戦略		マニフェスト			
根拠法令等					
備考	平成 2 8 年度の事務事業の見直しにより、平成 2 9 年度から以下の事業を統合しています。 ・土地改良施設維持管理事業支援事務 ・県営土地改良事業促進事務				

【事業分析】

対象	
目的	
手段	
事務内容	安城土地改良区等が実施する土地改良事業に対して、安城市土地改良事業補助金交付要綱等に基づき補助金を交付して支援します。また県営土地改良事業に対しては、負担割合に基づく事業費負担金の支払事務を行います。

【コスト】

（単位：千円）

	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
	決算額	決算額	予算額
トータルコスト	96,890	79,651	149,321
事業費	92,930	75,631	145,821
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	92,930	75,631	145,821
人件費計	3,960	4,020	3,500
正規（人）	0.60	0.60	0.50
その他経費	0	0	0

	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
【事務事業活動実績】	県営土地改良事業負担金 57,909千円 安城土地改良区等補助金 35,021千円	県営土地改良事業負担金 44,085千円 安城土地改良区等補助金 31,545千円	県営土地改良事業負担金 43,572千円 安城土地改良区等補助金 50,989千円

# 事務事業評価シート（ 2 / 2 ）

4 頁

令和 7年11月26日  
08時36分21秒

評価年度 令和 6年度 進捗区分 1 次評価  
所属 0001251510 農地整備課管理係  
事務事業 02629 土地改良事業推進事務

【 定量評価 】 上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度

【 定性評価 】

カテゴリ		評価の観点		基準		ランク
1	必要性	国・県・民間等との補完性	1	国・県・民間等がサービスを行っていない		1
			2	国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある		
			3	国・県・民間等が同様のサービスを行っている		
	理由		負担金の支払い、補助金の交付事務を行うものです。			
2	必要性	市民ニーズの有無	1	市民ニーズは充分にある		1
			2	社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している		
			3	市民ニーズはない又は不明である		
	理由		県営事業等の推進は市民サービスの向上となります。			
3	有効性	目標に対する進捗状況	1	目標を上回る又は目標どおりの進捗である		
			2	目標を下回る進捗状況である		
			3	進捗はかなり遅れている		
	理由					
4	効率性	事業の効率化・事業費の削減	1	事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている		2
			2	事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる		
			3	事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない		
	理由		事業内容を精査することで事業費削減に努めています。			
5	公平性	事業規模・サービス水準	1	環境変化や他自治体等と比較して適正である。		1
			2	環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。		
			3	環境変化や他自治体等と比較して適正でない。		
	理由		受益面積に応じて関係市と費用按分する等、公平性を図っています			

【 1 次評価結果 】

事業の方向性	維持・継続
1 次コメント ( 4 0 0 文字 )	安城土地改良区等が実施する施設改修等に市が支援することで、農業経営の安定や遊休農地の発生を防ぎ、継続的な農業振興が図られます。また、愛知県で実施する大規模な土地改良事業に対する事業費の負担は、地域農業の発展に寄与するものです。

【 2 次評価結果 】

事業の方向性	評価未実施
2 次コメント ( 4 0 0 文字 )	本事業においては、2 次評価を実施していません。

# 事務事業評価シート（ 1 / 2 ）

評価年度 令和 6年度 進捗区分 1 次評価  
所属 0001251510 農地整備課管理係  
事務事業 02630 ほ場整備事業支援事務

電話番号 0566-71-2236

【基本情報】

計画回数	03	第 9 次安城市総合計画			
重点戦略	002	ちから			
分野別	001	5 農業			
施策の取組	004	農業生産基盤整備の推進及び農地集積の促進			
事務事業	030	ほ場整備事業支援事務			
事業期間	平成元年度 ~				
実施方法	全部委託				
会計区分	一般会計	事業区分	義務的	性質別費目	
重点戦略		マニフェスト			
根拠法令等					
備考					

【事業分析】

対象	
目的	
手段	
事務内容	愛知県又は土地改良区が事業主体となる新規ほ場整備事業について、事業立ち上げを支援します。

【コスト】

（単位：千円）

		令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
		決算額	決算額	予算額
トータルコスト	事業費	0	0	0
	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	0	0	0
	人件費計	0	0	0
	正規（人）	0.00	0.00	0.00
その他経費		0	0	0

	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
【事務事業活動実績】			

# 事務事業評価シート（ 2 / 2 ）

評価年度 令和 6年度 進捗区分 1 次評価

所属 0001251510 農地整備課管理係

事務事業 02630 ほ場整備事業支援事務

【 定量評価 】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度

【 定性評価 】

カテゴリ		評価の観点	基準		ランク
1	必要性	国・県・民間等との補完性	1	国・県・民間等がサービスを行っていない	
			2	国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
			3	国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由					
2	必要性	市民ニーズの有無	1	市民ニーズは充分にある	
			2	社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
			3	市民ニーズはない又は不明である	
理由					
3	有効性	目標に対する進捗状況	1	目標を上回る又は目標どおりの進捗である	
			2	目標を下回る進捗状況である	
			3	進捗はかなり遅れている	
理由					
4	効率性	事業の効率化・事業費の削減	1	事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	
			2	事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
			3	事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由					
5	公平性	事業規模・サービス水準	1	環境変化や他自治体等と比較して適正である。	
			2	環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
			3	環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由					

【 1 次評価結果 】

事業の方向性	評価未実施
1 次コメント ( 4 0 0 文字 )	

【 2 次評価結果 】

事業の方向性	評価未実施
2 次コメント ( 4 0 0 文字 )	本事業においては、2 次評価を実施していません。

# 事務事業評価シート（ 1 / 2 ）

7 頁

令和 7年11月26日  
08時36分21秒

評価年度 令和 6年度 進捗区分 1 次評価  
所属 0001251510 農地整備課管理係  
事務事業 02631 明治用水関連事業推進事務

電話番号 0566-71-2236

【基本情報】

計画回数	03	第 9 次安城市総合計画			
重点戦略	002	ちから			
分野別	001	5 農業			
施策の取組	004	農業生産基盤整備の推進及び農地集積の促進			
事務事業	031	明治用水関連事業推進事務			
事業期間	平成元年度 ～				
実施方法	直営				
会計区分	一般会計	事業区分	義務的	性質別費目	
重点戦略		マニフェスト			
根拠法令等					
備考	平成 2 8 年度の事務事業の見直しにより、平成 2 9 年度から以下の事業を統合しています。 ・ 明治用水関連事業促進事務 ・ 環境用水事業支援事務 ・ 水源かん養造林事業支援事務				

【事業分析】

対象	
目的	
手段	
事務内容	パイプラインの維持保全のため、明治用水パイプライン協議会が実施する管路補修等に要する事業費に対して費用の一部を負担し支援します。 農業用水の安定的な供給と多面的な機能を楽しむため、水源かん養造林事業を支援します。 市民の良好な生活環境を創出するため、農業用水の保全管理を行う環境用水事業を支援します。

【コスト】

（単位：千円）

	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
	決算額	決算額	予算額
トータルコスト	68,401	71,286	72,828
事業費	67,081	69,946	71,428
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	67,081	69,946	71,428
人件費計	1,320	1,340	1,400
正規（人）	0.20	0.20	0.20
その他経費	0	0	0

	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
【事務事業活動実績】	明治用水パイプライン 維持管理費負担金 17,653千円 水源かん養造林事業負担金 11,869千円 環境用水事業補助金 37,559千円	明治用水パイプライン 維持管理費負担金 20,518千円 水源かん養造林事業負担金 11,869千円 環境用水事業補助金 37,559千円	明治用水パイプライン 維持管理費負担金 22,000千円 水源かん養造林事業負担金 11,869千円 環境用水事業補助金 37,559千円

# 事務事業評価シート（ 2 / 2 ）

8 頁  
令和 7年11月26日  
08時36分21秒

評価年度 令和 6年度 進捗区分 1 次評価  
所属 0001251510 農地整備課管理係  
事務事業 02631 明治用水関連事業推進事務

【 定量評価 】 上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度

【 定性評価 】

カテゴリ		評価の観点		基準		ランク
1	必要性	国・県・民間等との補完性	1	国・県・民間等がサービスを行っていない		1
			2	国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある		
			3	国・県・民間等が同様のサービスを行っている		
	理由	市が取り組むものであり、他機関等が行うものではありません。				
2	必要性	市民ニーズの有無	1	市民ニーズは充分にある		1
			2	社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している		
			3	市民ニーズはない又は不明である		
	理由	多面的機能を持つ用水の支援は市民サービスの向上に繋がります。				
3	有効性	目標に対する進捗状況	1	目標を上回る又は目標どおりの進捗である		
			2	目標を下回る進捗状況である		
			3	進捗はかなり遅れている		
	理由					
4	効率性	事業の効率化・事業費の削減	1	事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている		2
			2	事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる		
			3	事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない		
	理由	事業内容を精査することで事業費の増加を抑えています。				
5	公平性	事業規模・サービス水準	1	環境変化や他自治体等と比較して適正である。		1
			2	環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。		
			3	環境変化や他自治体等と比較して適正でない。		
	理由	近隣市と事業規模等の整合を図っています。				

【 1 次評価結果 】

事業の方向性	維持・継続
1 次コメント ( 4 0 0 文字 )	農業用水の安定的な供給が確保できるよう保全管理を行っている明治用水に、今後も支援する必要があります。また、継続的に用水が供給できるよう水源となる涵養造林に関する事業や農地へ送る管路補修等の支援についても行っていく必要があります。

【 2 次評価結果 】

事業の方向性	評価未実施
2 次コメント ( 4 0 0 文字 )	本事業においては、2 次評価を実施していません。



事務事業評価シート（ 1 / 2 ）

評価年度 令和 6年度 進捗区分 1 次評価  
所属 0001251510 農地整備課管理係  
事務事業 02632 農地等多面的機能促進事業

電話番号 0566-71-2236

【基本情報】

計画回数	03	第 9 次安城市総合計画			
重点戦略	002	ちから			
分野別	001	5 農業			
施策の取組	004	農業生産基盤整備の推進及び農地集積の促進			
事務事業	032	農地等多面的機能促進事業			
事業期間	平成19年度 ~				
実施方法	一部委託				
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目	
重点戦略		マニフェスト			
根拠法令等	農業の有する多面的機能の発揮の促進に関する法律				
備考					

【事業分析】

対象	市民が
目的	農地や農業用施設が持つ多面的機能を楽しみます。
手段	農地・農業用水等の資源や農村環境の良好な保全と質的向上を図る地域活動を支援します。
事務内容	地域活動組織が行う農地維持、資源向上（共同・長寿命化）活動に対して補助金を交付します。地域活動組織に対して、助言、指導や活動内容の確認を行います。

【コスト】

（単位：千円）

	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
	決算額	決算額	予算額
トータルコスト	236,125	239,836	275,437
事業費	228,865	231,796	264,237
国庫支出金	0	0	0
県支出金	171,225	173,494	197,356
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	57,640	58,302	66,881
人件費計	7,260	8,040	11,200
正規（人）	1.10	1.20	1.60
その他経費	0	0	0

	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
【事務事業活動実績】	農地維持 34団体、3,003ha 資源向上（共同活動） 33団体、2,969ha 資源向上（長寿命化） 33団体、2,969ha	農地維持 34団体、3,003ha 資源向上（共同活動） 33団体、2,969ha 資源向上（長寿命化） 33団体、2,969ha	農地維持 34団体、3,003ha 資源向上（共同活動） 33団体、2,969ha 資源向上（長寿命化） 33団体、2,969ha

# 事務事業評価シート（ 2 / 2 ）

10 頁

令和 7年11月26日  
08時36分21秒

評価年度 令和 6年度 進捗区分 1 次評価  
所属 0001251510 農地整備課管理係  
事務事業 02632 農地等多面的機能促進事業

【 定量評価 】 上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
地域活動団体の活動継続率	%	100.00 100.00	0.00 100.00	100.00 0.00

【 定性評価 】

カテゴリ		評価の観点		基準		ランク
1	必要性	国・県・民間等との補完性	1	国・県・民間等がサービスを行っていない		1
			2	国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある		
			3	国・県・民間等が同様のサービスを行っている		
	理由	市が取り組むものであり、他機関等で行うものではありません。				
2	必要性	市民ニーズの有無	1	市民ニーズは充分にある		1
			2	社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している		
			3	市民ニーズはない又は不明である		
	理由	農地が持つ多面的機能の保全は、市民サービスの向上に繋がります				
3	有効性	目標に対する進捗状況	1	目標を上回る又は目標どおりの進捗である		1
			2	目標を下回る進捗状況である		
			3	進捗はかなり遅れている		
	理由	目標どおり、概ね農地の保全ができています。				
4	効率性	事業の効率化・事業費の削減	1	事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている		2
			2	事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる		
			3	事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない		
	理由	国県の補助金を活用し、市の事業費負担を軽減しています。				
5	公平性	事業規模・サービス水準	1	環境変化や他自治体等と比較して適正である。		1
			2	環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。		
			3	環境変化や他自治体等と比較して適正でない。		
	理由	他市でも当事業の推進に取り組んでいます。				

【 1 次評価結果 】

事業の方向性	維持・継続
1 次コメント ( 4 0 0 文字 )	農地・農業用水等の資源や農村環境の良好な保全と質的向上を図るため、地域の活動組織が行う農地維持、農業用施設の補修・更新に対して、今後も農地等が持つ多面的機能を楽しむよう支援が必要です。

【 2 次評価結果 】

事業の方向性	評価未実施
2 次コメント ( 4 0 0 文字 )	本事業においては、2 次評価を実施していません。

# 事務事業評価シート（１／２）

評価年度 令和 6年度 進捗区分 1 次評価

所属 0001251520 農地整備課工務係

事務事業 02628 土地改良施設改修事業

電話番号 0566-71-2236

【基本情報】

計画回数	03	第9次安城市総合計画			
重点戦略	002	ちから			
分野別	001	5 農業			
施策の取組	004	農業生産基盤整備の推進及び農地集積の促進			
事務事業	028	土地改良施設改修事業			
事業期間	平成元年度 ～				
実施方法	全部委託				
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目	
重点戦略		マニフェスト			
根拠法令等					
備考	平成28年度の事務事業の見直しにより、平成29年度から以下の事業を統合しています。 ・土地改良施設修繕事業 ・土地改良施設改良事業				

【事業分析】

対象	農業者が
目的	土地改良施設を快適に使用できます。
手段	老朽化した土地改良施設（用水路・排水路・農道など）について、修繕や改修により機能を維持保全し、生産性の高い農業経営を図ります。
事務内容	町内会等の地元要望により必要な修繕や改修を実施します。実施にあたり補助事業や多面的機能の地元組織での活動で対応可能か検討し一般財源の軽減に努めます。

【コスト】

（単位：千円）

	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
	決算額	決算額	予算額
トータルコスト	146,261	133,762	128,922
事業費	142,961	130,412	123,322
国庫支出金	0	0	0
県支出金	79,203	65,376	64,800
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	63,758	65,036	58,522
人件費計	3,300	3,350	5,600
正規（人）	0.50	0.50	0.80
その他経費	0	0	0

	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
【事務事業活動実績】	施設の緊急修繕等 10箇所	施設の緊急修繕等 14箇所	施設の緊急修繕等 12箇所
	排水路改修工事 2路線	排水路改修工事 4路線	排水路改修工事 3路線
	用排水路調査 1業務	修正設計 1業務	維持管理計画書作成 1業務
	事業計画策定 1業務		実施設計 1業務

# 事務事業評価シート（2/2）

2 頁

令和 7年 9月10日  
19時23分53秒

評価年度 令和 6年度 進捗区分 1 次評価  
所属 0001251520 農地整備課工務係  
事務事業 02628 土地改良施設改修事業

【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
施設管理の苦情件数	件	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00
整備件数/市要望件数	%	100.00	0.00	100.00
		33.00	66.00	0.00

【定性評価】

カテゴリ		評価の観点	基準	ランク
1	必要性	国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
			2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
			3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由		適正な施設管理は地元とともに取り組む必要があります。		
2	必要性	市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
			2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
			3 市民ニーズはない又は不明である	
理由		適正な施設改修等は、市民サービスの向上となります。		
3	有効性	目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	2
			2 目標を下回る進捗状況である	
			3 進捗はかなり遅れている	
理由		県費補助金の割り当てにより目標を下回る進捗となりました。		
4	効率性	事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
			2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
			3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由		県費補助金を活用し、事業費削減等に取り組んでいます。		
5	公平性	事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
			2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
			3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由		土地改良施設の老朽化により事業の必要性は高まっています。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	県営ほ場整備等により整備された市内の土地改良施設の多くが整備後40年以上経過しています。機能を維持しながら生産性・効率性の高い農業経営を継続していくには、老朽化施設の改修等を計画的に進めていく必要があります。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。